

(18) その他の取組について

■今年度の特徴

その他取組の主な内容として、PR時のキャラクターの貸し出し、学生や事業者との産学官連携によるキャンペーン活動、施設見学の実施、協定未参加企業への参加の働きかけ等が挙げられる。

また、男性客など特定の層への啓発を目的とした取組も行われている。

<その他の取組に対する主な回答>

自治体	取組内容
群馬県	・「群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会」の運営
千葉県	・啓発キャラクターの共有：市町村による県のレジ袋削減PRキャラクターの使用を認め（要申請）、ぬいぐるみの貸し出し、キャラクターを使用したエコバッグの市町村事業としての生産を認める等、シンボルを共有できるようにしている。
東京都	・九都県市容器包装ダイエツト宣言
神奈川県	・当面の取組方針として、若年層世代をターゲットにした普及啓発活動を実施 主な取組として、具体的には次の①～③の広報、イベント等を実施した。なお、③の普及啓発については、産学官民連携として、スーパー、学生、行政及び地元自治会と連携し、普及啓発した。 ①県と提携している県内 21 大学の学生ポータルサイトにおいて、レジ袋削減啓発のちらしを掲示 ②県内の私立大学キャンパス内でレジ袋削減、マイバッグ持参励行の普及啓発を実施 ③県内のスーパーにおいて、県内私立大学 ECO 推進チーム（環境サークル）の学生、県内スーパー、厚木市、藤沢市、寒川町、善行地区生活環境協議会及び寒川町廃棄物減量化等推進協議会の協力のもと、レジ袋削減の店頭啓発チームを結成し、来店された方にマイバッグ等を配布し、レジ袋削減、マイバッグ持参励行を呼びかけた。
石川県	・協定締結事業者に対し、協定更新の働きかけを実施。
滋賀県	・マイバッグ携帯に関するキャッチコピーを募集し、ポスターやチラシといった啓発品に活用する予定です。
岡山県	・平成 22 年 6 月から毎月 10 日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、事業

	<p>者、消費者、環境団体等、行政（県、市町村）が協働して買い物の際にマイバッグを持参して、レジ袋をも受け取らない運動を展開している。</p>
山口県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者、事業者、行政関係者を対象に、県内の排出事業者の削減の取組やリサイクル業者の施設の見学などを実施（スタディツアー）</li> </ul>
高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男も（女も）持つぞ！マイバッグ」キャンペーンの実施 企業・団体・県民等のグループによる登録・参加とし、期間中レジ袋を断った回数を申告。断った枚数とCO2削減量を競うもの。キャンペーンポスター、チラシ、啓発用シールの配布、新聞・ホームページでの広報を実施した。</li> <li>・スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテストの実施 高知県内の主要スーパーマーケット各社がエントリーし、レジ袋有料化導入と未導入の2部門に分け、レジ袋の辞退率（レジ袋を断った来店客の割合）を競う。また、レジ袋削減のために新たに取組んだ内容を審査し、それぞれ優秀な店舗を表彰する。</li> </ul>
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が開催する会議等に参加し、情報提供を行う</li> <li>・自治体、事業者及び市民団体等からなるレジ袋削減を目的とした協議会等の要請により、県下のレジ袋削減運動に取り組んでいない市町村に対して働きかけを行う</li> </ul>